

## 教材4-B-(3)の解答

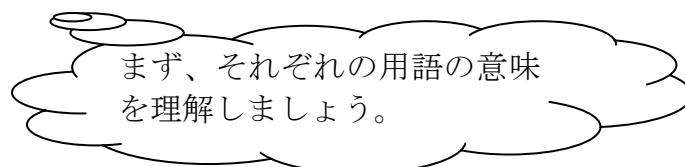
## 資料の活用、分析

『度数分布表の問題』『ヒストグラムの分析』の解決のために

それぞれの用語の意味

- 度数とは、それぞれの階級に入っている個数。 【表】ある市の9月の最高気温
- 階級とは、「 $26^{\circ}\text{C}$ 以上  $28^{\circ}\text{C}$ 未満」のように分ける区間。
- 相対度数とは、各階級の度数を、総度数でわった値
- 範囲とは、資料において、資料の最大値と最小値の差。
- 度数分布表とは、右の【表】のように、階級と度数で資料の分布を表している表。
- ヒストグラムとは、「階級の幅を底辺、度数を高さ」とする長方形を順に並べてかいたグラフ。
- 中央値とは、資料を大きさの順に並べたとき、中央にくる値。
- 最頻値とは、資料の中で、度数のもっとも多い値。
- 代表値とは、資料全体の特徴を1つ値として代表する数値。

階級( $^{\circ}\text{C}$ )	度数(日)
以上	未満
$22 \sim 24$	2
$24 \sim 26$	4
$26 \sim 28$	a
$28 \sim 30$	3
$30 \sim 32$	12
$32 \sim 34$	6
合計	30



①最高気温が  $30^{\circ}\text{C}$  の日は、表の  $30^{\circ}\text{C} \sim 32^{\circ}\text{C}$  の階級に入り、その度数は 12 となる。

相対度数は、 $(30^{\circ}\text{C} \sim 32^{\circ}\text{C} \text{の階級の度数}) \div (\text{総度数})$  で表す。

よって、

$$12 \div 30 = 0.4$$

②中央値は a が  $30 - (2 + 4 + 3 + 12 + 6) = 3$

30日で中央は15日になるので

30°C～32°Cの階級にある

年  組 名前

③最頻値の含まれる階級の相対度数は、もっとも多い度数は  だから

最頻値の含まれる階級の度数÷総度数で求められる。

よって、

$$\begin{array}{c} \boxed{12} \\ \div \end{array} \quad \boxed{30} = \boxed{0.4}$$

④10人の生徒の身長は、

161.3、169.3、156.1、165.0、149.3、159.2、170.1、162.2、150.6、168.1

このとき、範囲を求めなさい。

範囲は上のように、それ  
ぞれの あたい 値があれば求める  
ことができるね。

しかし、度数分布表やヒストグラムでは範囲を求ることはできない。

$$\begin{aligned} \text{最大値} - \text{最小値} &= \boxed{170.1} - \boxed{149.3} \\ &= \boxed{20.8} \end{aligned}$$